

《特選》

魔法の言葉

彦根総合高等学校 1年

三橋 みつはし 聖愛 せな さん

皆さんは、自分の弱さを見せられる人はいませんか。私は人を頼るのが苦手です。そんな私が人を頼るのは誇らしいことなんだと、友人のおかげで知ることが出来ました。

私は高校生になっただけで今の自分から生まれ変わり、何でもこなせる人になろうと考えていました。だからずっと憧れていた野球部のマネージャーになりました。野球の知識もなく初めはものすごく不安で心配でしたが優しい方々に恵まれ、楽しく部活をすることが出来ました。ですが、先輩が引退されてから私は期待に押し潰されてしまい、部活に行くのが苦痛になりました。そこから

私はどん底に陥りました。今までの明るさも失い、他人と接することも全てが苦痛になりました。気付けば涙が溢れ落ち、自分は何のために生きているのか、自分の存在意義とはなんだろうと、全てに「正解」を求めようになりました。夜になるのが怖くて、目を瞑るのが怖くて、前までの私はもう存在しませんでした。そんな時、私を救ってくれたのは友人の言葉でした。その言葉は、

「よく頑張ってるよ。」
 でした。この一言でどれだけ救われたか。凄く簡単な言葉だけれど、肩の重荷が無くなりました。私は自分の頑張りを認めてほしかっただけなのかもしれない。私を必要としてくれる人を見つけたかっただけかもしれない。私はナイモノネダリだなと思いました。でも、その私の要求を即座に察して、求めている言葉を言ってくれた友達がいれば良かったなと思います。私が寝るのが怖いと言えば朝まで付き合っ

くれ安心させてくれました。一日の終わりに、
 「今日も良く頑張ったね、お疲れ様。」

と毎日伝えてくれました。その友人がいなければ私は立ち直れていませんでした。

互いに助け合って生きていくしかないのだから、人を頼っていいのです。一人で生きていく人間はいません。そして誰の役にも立っていないと思わないでください。必ず誰かの支えになっていきます。気付かない内に皆支え合い生きています。その優しさに気付けた時、また一歩大人の階段に登れるのかなと思います。だから人を頼るのを怖がらないで。私は世界中のみんなに伝えたい。沢山沢山、人を頼って、自分の失敗、弱さを認めましょう。頼ることも、認めることも全然、恥ずかしいことではありません。だから、お願いです。一人で抱え込まないで。一人なんかじゃありません。あなたには沢山、味方がいます。大丈夫です。一

度きりの人生楽しく生きようじゃないか。そう思えるようになったのは大切な友人のおかげです。だから今度は、私の番です。悩んで孤独を感じている皆さんに私のこの想い、届きますように。

《選評》

コロナ禍になり、人がつながりたくても繋がれない状況が続きました。世界中の人が今その重要性を再認識し始めていると思います。筆者が教えてくれるように、「人は一人では生きていけない」事に気づき、互いに支え合う事の大切さ、頑張り過ぎない事を許すことができる友人との関係に、人としての気遣いはこの一言でも大丈夫なんだと気づかせてくれました。人が人に無関心にならず助け合うことができる事を教えてくれる作文です。